

10月の消防広報重点事項

発行 平成30年9月10日
盛岡市危機管理防災課
編集 盛岡中央消防署

● 外出先での地震への対処

地震が発生したとき、身の安全を確保するためには、一人ひとりがあわてずに適切な行動をとることが極めて重要です。そのためには、日ごろから皆さんが地震について関心を持ち、地震に対して正しい心構えを身に付けておくことが大切です。

外出先での地震への対処について取り上げてみます。

① 住宅地

強い揺れに襲われたら、住宅地の路上では落下物やブロック塀等の倒壊物に注意しましょう。

② オフィス街・繁華街

中高層ビルが建ち並ぶオフィス街や繁華街では、窓ガラスや外壁、看板などが落下してくる危険性があります。鞆などで頭を保護し、できるだけ建物から離れましょう。

③ 海岸・川べり

海岸や川べりで強い揺れに襲われたら、一番恐ろしいのは津波です。避難の指示や勧告を待つことなく、直ちに避難しましょう。

④ 山・丘陵地

落石に注意し、急傾斜地など危険な場所から遠ざかりましょう。

⑤ 自動車の運転中

急ブレーキを踏めば予想外の事故を引き起こすことにつながります。道路の左側か空地に停車し、エンジンを止めましょう。



● ガス機器による火災の防止

ガス機器を正しく取り付け、ガスによる火災を防ぎましょう。

① ガスコンロやガスストーブを柱や壁に近づけて使用すると、壁面などを熱に強い材料で覆っていても、内部の木材が炭化して、低温でも発火することがあります。柱や壁などから間隔を空けて使用してください。

② ガスコンロで揚げ物等をしている際の火災が多く発生しています。揚げ物等をする際にはその場を離れず、またどうしても離れる場合は短時間でもコンロの火を必ず消してください。

③ 煮炊き等をする際も、鍋を火にかけたら目を離さないようにし、煮こぼれ等による炎の立ち消えや空焚き等がないように注意してください。



● 風水害に対する備え

台風や前線等の影響による多量の降雨があり、全国各地で洪水や土砂災害による被害が発生しています。



○ **洪水**

流域に降った多量の雨水が河川に流れ込み、特に堤防が決壊すると、大規模な洪水被害が発生します。平常時には川遊びができるような穏やかな河川であっても、短時間で局地的に激しい雨が降り注ぐと、急激に増水して氾濫し、流域に甚大な被害をもたらす場合があります。実際に各地でそうした事例が発生しています。

○ **土砂災害**

土砂災害とは、大雨や地震などが引き金となり、山や崖が崩れたり、土砂が雨などの大量の水と混ざり合って一気に流れたりする自然災害で、すさまじい破壊力をもつ土砂が一瞬にして多くの人命や住宅などの財産を奪ってしまう恐ろしい災害です。

○ **局地的な大雨による災害**

気象庁によると、近年、雨の降り方が局地化、集中化、激甚化しており、中小河川の急な増水、地下空間の浸水等により、車が立ち往生したり、床上・床下浸水等の被害が生じる事例が多く発生しています。

○ **早めの避難が命を救う**

災害発生のおそれがある場合、居住者等の安全を考慮して、市から避難勧告等の避難に関する情報が伝達されます。避難勧告等が伝達された場合には、すぐに安全な場所に避難しましょう。

また、避難勧告等が伝達されていなくても、身の危険を感じた場合には、「自らの命は自らが守る」という心構えで、自発的に避難することが重要です。

● 盛岡市内の1月から8月までの火災件数

	平成30年	平成29年	比較増減
火災件数	25件	30件	5件減
死者数	2人	1人	1人増

● 平成30年8月中の火災3件の内訳

- 8月 4日 中野二丁目 車両1台焼損
- 8月18日 手代森 車両2台焼損
- 8月22日 盛岡駅前通 複合建築物1棟部分焼、物置1棟ぼや